

北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会

委員一覧 (20名)

委員長	中曾根 弘文 (自民)	猪口 邦子 (自民)	柳田 稔 (民主)
理事	塚田 一郎 (自民)	衛藤 晟一 (自民)	平木 大作 (公明)
理事	三原じゅん子 (自民)	北村 経夫 (自民)	井上 義行 (みん)
理事	白 眞勲 (民主)	二之湯 武史 (自民)	藤巻 健史 (維新)
理事	矢倉 克夫 (公明)	有田 芳生 (民主)	山下 芳生 (共産)
	赤池 誠章 (自民)	長浜 博行 (民主)	中山 恭子 (次代)
	石井 浩郎 (自民)	柳澤 光美 (民主)	(26. 9. 29 現在)

(1) 審議概観

第187回国会において、本特別委員会に付託された法律案は、衆議院提出1件（北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員長）であり、これを可決した。

〔法律案の審査〕

拉致被害者等支援法の改正 北朝鮮当局によって拉致された被害者等の支援に関する法律の一部を改正する法律案は、北朝鮮当局によって拉致された被害者等が置かれている状況に鑑み、永住被害者及び永住配偶者の老後における所得を補完しその良好かつ平穏な生活の確保に資する等のため、老齢給付金の支給等の施策を講ずるものである。

委員会においては、提出者である衆議院北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員長より趣旨説明を聴取した後、全会一致をもって原案どおり可決された。

〔国政調査〕

第186回国会閉会後の6月25日、北朝鮮による拉致問題等に関する実情調査のため新潟県新潟市において視察を行い、横田めぐみさんの拉致現場の実地調査を行うとともに、新潟県、新潟市、新潟県警察本部等の関係者から、拉致問題に関する

る県・市の取組等について説明を聴取し質疑を行った。次いで、曾我ひとみさん及び蓮池薫さんと懇談を行い意見を聴取するとともに、救う会、特定失踪者問題調査会及び特定失踪者の御家族から説明及び意見を聴取した。

安倍内閣総理大臣は、第187回国会の所信表明演説において、北朝鮮が開始した拉致被害者を含む全ての日本人に関する包括的、全面的調査が、全ての拉致被害者の帰国という具体的な成果につながっていくよう、「対話と圧力」、「行動対行動」の原則を貫き、全力を尽くすことを表明した。

11月17日、北朝鮮をめぐる最近の状況について岸田外務大臣から、拉致問題をめぐる現状について山谷国務大臣からそれぞれ説明を聴いた後、日朝政府間協議の合意文書、政府担当者の平壤派遣、拉致問題とヘイトスピーチ、北朝鮮情勢等について質疑を行った。

(2) 委員会経過

○平成26年9月29日(月) (第1回)

- 特別委員長を選任した後、理事を選任した。

○平成26年11月17日(月) (第2回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 北朝鮮をめぐる最近の状況に関する件について岸田外務大臣から説明を聴き、拉致問題をめぐる現状に関する件について山谷国務大臣から説明を聴いた後、日朝政府間協議の合意文書に関する件、政府担当者の平壤派遣に関する件、拉致問題とヘイトスピーチに関する件、北朝鮮情勢に関する件等について岸田外務大臣、山谷国務大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

白眞勲君 (民主)、有田芳生君 (民主)、
井上義行君 (みんな)、藤巻健史君 (維新)、
仁比聡平君 (共産)、中山恭子君 (次代)

- 北朝鮮当局によって拉致された被害者等の支援に関する法律の一部を改正する法律案(衆議院提出) (衆議院提出) について提出者衆議院北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員長平沢勝栄君から趣旨説明を聴いた後、可決した。

(衆議院提出)

賛成会派 自民、民主、公明、みんな、維新、
共産、次代

反対会派 なし